

2/25 (水) **業種間連携で活性化**

文化会館小ホールで「地方創生に向けた業種間連携によるまちづくり」と題し、シンポジウムが開催されました。この取り組みは那珂川町で行われている先進事例から、産業間の連携を強化させ地域を活性化することの必要性を学ぶために開催されたものです。パネリストからは木材加工とその熱利用を絡めマンゴー栽培やウナギの養殖をしている事例などが話され、参加者たちは熱心に耳を傾けていました。



3/1 (日) **春の消火訓練**

市内各地において、市消防団による消火訓練が行われました。この訓練は、3月1日～7日までの春の火災予防週間に併せ毎年開催されているもので、今年は主にそれぞれの分団が所属する地域の火災を想定し、情報の収集や、水利の確認、放水訓練などが実施されました。訓練後に行われた講評では、各地域ごとの特性を理解し、素早く行動することの大切さが話されるなど爽りの多い1日となりました。



3/1 (日) **矢板武経営者の側面**

生涯学習館において「西澤金山と矢板武」と題し、歴史講演会が開催されました。県立博物館の興野先生から熱のこもった話がありました。会場には、様々な鉱山の標本や鉱山で使用されていた道具のほか矢板武氏と鉱山との関係を示す資料などが展示され、会場はあたかもミニ企画展のようでした。

参加者からは「矢板武氏の経営者としての側面がわかった」「栃木県の近代史に触れることができた」など、感嘆の声が上がっていました。



3/9 (月) **輝け！ 矢板の元気っ子**

矢板中学校において「矢板っ子輝き大賞」の表彰が行われました。この表彰は小・中学校の児童・生徒の優れた個性や能力、努力点を見出して表彰し、自信と誇りを持ち健全な心身の発達の助長を目的として、今年初めて実施されたものです。健康優良賞、体育賞、読書賞、あいさつ賞など11分野に分かれ、広く表彰を行いました。

今年は、9つの小・中学校で71人が該当となり賞を受けました。今後のますますのご活躍に期待します。

